平成２６年度事業実績報告

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
会費の募集 会員の募集・会費納入の推進	会費を納入頂いたことで、社会福祉への参加意識を含めた活動を行う事業が図られた。 （１世帯５００円）	募集期間　１０月１日から２ヶ月間 会員総数　　２，６３７件 会費総数　　１，３１８，５００円
地区社協事業の推進 補助金・会費収入 １，０４４，０００円 共同募金収入　　４２０，０００円 支出総額　　１，４６４，０００円 ※関地区・白潟地区・南白亀地区に それぞれ　　４８８，０００円	各関係機関と連携して、町内におけるネットワークの構築を図った。小域福祉圏を核としてボランティア活動を中心にサロンの普及を図るとともに、広報啓発を行い住民の参加意欲を高めた。	小域福祉圏（関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会） ・夢サロン・関フレンドサロン・サロン全体会・救急法講習会 ・介護予防教室・見守り活動・広報発行（年２回） ・スマイルクラブと保育所の交流会 ・はがき慰問（年賀状送付） 関８９名・南白亀１００名・白潟１４６名 ・アルミの回収　　累計１８５，６０７円 [H２６年度実績　　２９，５４８円] 福祉教育関係 [団体：関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会] [学校：関小学校・南白亀小学校・白潟小学校・白子中学校・茂原高校] （福祉教育事業内容） ・スマイルクラブと保育所と小学校の交流会 ・フレンドサロンと関小学校との交流会 ・フレンドサロンと保育所の交流会 ・夢サロンと白潟小学校との交流会 ・いきいきサロン全大会で茂原高校と交流会 ・いきいきサロン全大会 ・はがき慰問（年賀状送付） ・エコキャップ収集 ・１人暮らし高齢者に玉葱届け ・運動会ご招待時の接遇 ・赤い羽根街頭募金活動への協力

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
		会議関係 ・３地区社協活動推進連絡会会議　　１回開催 ・福祉教育推進連絡会会議　　１回開催 ・福祉教育プログラム企画部会　　３回開催 ・各地区役員会、総会の開催
団体活動助成事業 受託金収入　　９８１，０００円 支出総額　　９８１，０００円	福祉団体を助成し、活動を支援した。	（１）　民生委員・児童委員協議会　　１５０，０００円 （２）　母子寡婦福祉会　　７１，０００円 （３）　保護司会　　８５，０００円 （４）　遺族会　　１８４，０００円 （５）　障がい者福祉会　　４３７，０００円 （６）　更生保護女性会　　５４，０００円

＜高齢者福祉の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
敬老祝賀会事業 支出総額　　４７６，０００円 （共同募金配分金）	敬老祝賀会を開催することで、地域の人々の幸せを高め、明るいまちづくりを図った。	平成２６年度白子町敬老祝賀会 期　　日　９月１３日（土） 場　　所　白子町青少年センター 参加人員　　４００人 ９０歳祝い品贈呈　　５５名
給食サービス事業 補助金・会費収入 ７５３，７４４円 支出総額　　７５３，７４４円	７５歳以上の一人暮らし高齢者に月２回食事を提供し、安否確認を図った。	毎月第２・４金曜日配食（年２４回） 延配食数　　１，３３５食 登録者数　　６５名

＜高齢者福祉の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
紙おむつ支給事業 補助金・会費収入 １，１７５，４２６円 支出総額　１，１７５，４２６円	在宅の６５歳以上の高齢者で、介護保険制度の要介護３～５の認定を受けた６ヶ月以上寝たきりの状態で、常時失禁している方に年４回（４・７・１０・１月）紙おむつを支給し、在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。	支給月　４月・７月・１０月・１月（年４回） 実人員　５６名 延べ人員　１７８名
外出支援事業 補助金・会費収入 １，８６２，９９９円 事業収入　３０５，６００円 支出総額　２，１６８，５９９円	単独で公共交通機関が利用できない、概ね６５歳以上の高齢者のみの世帯に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関、公共機関等」の外出支援を行った。	派遣件数　１４５件 利用者延べ人数　８７２名 登録者数　２２名

＜心身障がい児（者）福祉の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
介護用品の貸出	リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援を図った。	車椅子　２６件 福祉カー　６件

＜児童・母子福祉の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
交通遺児援護事業 （県社協）	義務教育中の交通遺児家庭に対して、図書券や激励金又は奨励金を支給し、経済的援助を図った。	町内の保育所・小中学校の調査を行い、対象生徒に奨学金の調査を行った。

＜生活援助活動の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
在宅福祉事業（援護金） 補助金収入　　５０，０００円 支出総額　　５０，０００円	要保護世帯へ生活費が多く掛かる夏期に援護資金を支給し、生活援助を図った。	夏期援護金の支給 総支給額　　４１，０００ 円 対象世帯　　要保護１１世帯　３０人 被爆者友愛会援護金の支給 総支給額　　９，０００ 円 対象者　　３名
心配ごと相談事業 補助金・会費収入 １０４，９５７円 支出総額　　１０４，９５７円	日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員の協力を得て、相談者に指導及び助言を行ったり、適正な機関へ紹介する等問題解決への手助けを図った。 また、第２水曜日は、民生委員児童委員、行政相談員・人権擁護員・行政書士による合同相談、「なんでも相談ホットライン」を実施し、幅広く問題解決に結びつけている。	（１）相談所取り扱い件数５２件 生計３件・年金１件・住宅７件・家族４件・結婚１件・　離婚２件 医療２件・精神保健１件・人権法律２件・財産２０件・事故２件 高齢者福祉１件・苦情５件・その他１件 （２）法律相談３件 （３）各研修会の参加 ・長生ブロック研修 期　　日：２月５日（木） 主　　催：長南町 参加人数：総勢４３名　（内白子町：７名）
結婚相談事業 補助金・会費収入 １８９，７６９円 支出総額　　１８９，７６９円	相談所の開設し、気に入った人同士でお見合いなどもセッティングしている。 また、広域的な登録者を増やすため、ふれあいパーティーを開催し、独身男女の出会いの場の提供を行った。	（１）町相談員会議　　６回 （２）ふれあいパーティー開催（白子町単独での開催） 期　日：　３月２９日（土） 場　所：　大多喜城周辺 参加者：　１０名（男性５名：女性５名） 成　立：　２組 ※ 終了後、参加者にアンケートを実施 （３）　相談所開設（月に１度） 継続して相談所を開設している

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
貸付事業 前年度繰越金　１，１５５，８２９円 H２６貸付額　　１０５，０００円 H２６返済額　　１０９，０００円 繰越金　　１，１５９，８２９円	低所得者世帯へ援護資金を貸し付け、生活援護を図った。	生活援護資金（町）貸付 内　訳 貸付件数：５件 貸付総額：１０５，０００円 貸付内容：生活保護支給までの生活費及び交通事故休業補償までの生活費等（生活資金） 相談延べ件数　１１件
県貸付事業（事務費） 県受託金収入　　８１，５００円 支出総額　　８１，５００円		生活福祉資金（県） 相談延べ件数　１６件

＜ボランティア活動・福祉教育の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
ボランティアセンター運営事業 補助金・会費収入 ６５２，６４３円 支出総額　　６５２，６４３円	ボランティアの相談・登録・斡旋、各種ボランティア入門講座・体験講座などを実施し、新たなボランティアの発掘と育成を図った。	地域福祉推進事業 ・ボランティア活動の促進 新規ボランティア登録者数　　１５名 相談・斡旋　　２０件 ・福祉教育の推進 中学校６０，０００円　　小学校　各４０，０００円 （計１８０，０００円） （１）ボランティア保険の加入　　８５３名 （２）レクリエーション用具貸出（ポップコーン・かき氷機等）１１件

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
		（3）夏季ボランティア体験講座（全5回　5日間） 期　日　7月25日　ゆうあい訪問　9名参加 7月30日　災害炊き出し訓練　24名参加 8月　4日　点字体験講座　8名参加 学童クラブお手伝い講座 8月　5日　なのはなキッズコース　3名参加 8月　5日　げんきっ子クラブコース　4名参加 8月　6日　かめっこクラブコース　2名参加 8月　8日　高齢者施設体験講座　6名参加 （4）赤い羽根共同募金街頭ボランティア活動 期　日　11月3日（白子町文化祭） 場　所　白子町役場 内　容　文化祭での街頭募金活動 参加者　小中学生の希望者と地区社協役員　24名参加 （5）レクリエーション講習会 期　日　1月18日 場　所　関ふれあいセンター 参加者　48名 講　師　国際武道大学教授　中島一郎氏 目　的　住民自身が介護予防レクリエーションについて学び様々な交流の場で実践できるようにするため 内　容　①ゲーム・踊り ②コミュニケーションワーク ③介護予防と運動 （6）第32回千葉県ボランティアの集い 期　日　1月13日～14日 場　所　鴨川館 参加者　4名 内　容　①記念講演 ②分科会 ③自主交流会

＜共同募金活動の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保と共に、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	（１）赤い羽根募金（１０月１日から３ヶ月間） 目標額　　８９０，０００円 実績額　２，１３０，０７５円（達成率　２３９．３　％） 件　数　２，７０３件　（自治会２，６２６件　その他　７７件）
＜赤い羽根募金配分金＞ 配分金収入１，８１１，０００円 支出総額　１，８１１，０００円	主な配分事業：敬老祝賀会・スマイルクラブ助成・調査費・育児サークル助成・地区社協助成・広報費等	＜助成事業＞ ①地区社会福祉協議会助成（３地区）　４２０，０００円 ②ほっぺの会助成　（育児サークル）　２０，０００円 ③敬老祝賀会　４７６，０００円 ④スマイルクラブ助成　１００，０００円 ⑤防災グッズ購入　２９３，０３２円 ⑥車椅子点検修理　６，０００円 ⑦社協広報　２６０，１０８円 ⑧民生委員調査費　１３７，７００円 ⑨地域福祉活動計画製本　９８、１６０円 合計額　１，８１１，０００円
歳末たすけあい募金 募金総額　　６０２，９４９円 支出総額　　６０２，９４９円	町内各種団体の年末行事への支援や地域福祉活動の強化を図った。	（２）歳末たすけあい募金（１０月１日から３ヶ月間） 目標額　６３０，０００円 実績額　６０２，９４９円（達成率　９５．７　％） 件　数　２，６４０件（自治会：２，６２８件　その他：１２件） ①各種団体支援 障がい者福祉会ふれあい交流会支援　３０，０００円 障がい児母の会レインボークラブ支援　３０，０００円 学童クラブ支援（３か所）　４５，０００円 ほっぺの会（育児サークル）支援　２０，０００円 ②ボランティア連絡協議会　ゆうあい訪問慰問品配布 対象件数　５３件　支給額　３０，０００円 ③社協広報　１月号発行　１０１，５５４円 ④地域福祉活動助成金　６５，６００円 （中里東区・中里西区・福島区・関北区・八斗東区・浜宿東区） ⑤移送サービス福祉カー修繕　１５６，９３８円 ⑥事務費　３，８５７円

		⑦剰余金　１２０，０００円 合計額　６０２，９４９円

＜地域包括事業の推進＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
地域包括支援センター事業 受託金収入　２０，７１７，０５３円 プラン料収入　　１２０，０６０円 支出総額　　２０，８３７，１１３円	・生活上の様々な課題を抱える高齢者に対して、適切なケアマネンジメントを行う事により、要支援状態の予防や改善を図った。 ・地域に住む高齢者の様々な相談を受けとめ、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的にフォローすることができた。 ・民生委員等と１人暮らし高齢者の見守り活動を実施し、安否確認に向けた働きかけを行った。 ・問題を抱えている困難家族へ在宅生活及び施設サービスの継続ができるように助言や支援を行った。	（１）　介護予防ケアマネジメント事業 ・ケアプラン決定件数　８８名 （２）　総合相談事業 ・相談総件数　１，０３１件（延べ数） ≪相談内容内訳≫ 寝たきり高齢者　３４件・一人暮らし高齢者　９５件 認知症高齢者　９２件・介護に関する事柄　１１件 介護及び福祉サービス　２１３件・保健及び医療　７０件 精神的支援　１６件・生活支援　５８件 状況確認　１２２件・関係機関調整　１６８件 権利擁護及び成年後見　１２件・消費者被害　０件 高齢者虐待（疑いも含む）　５件・施設入所　４５件 介護方法（技術）　２件 やむ得ない事由による措置１件・苦情全般　０件 家族間調整　４９件・個人の悩み事　３８件 その他　０件 ≪対象別相談件数　３２６件（延べ数）≫ 介護支援専門員　４１件・サービス事業者　３件 主治医　３件・民生委員　２３件 近隣　１２件・家族　１４２件 当事者（利用者）　４３件・知人　３件 関係機関　５５件・その他　１件

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
		（３）　地域におけるネットワーク構築業務 ・給食サービス実態把握調査　　２４回　１，３３５名 ・消費者被害相談講話　　３回　　６５名 ※警察に依頼
・認知症をかかえる家族会	認知症の家族を介護している家族が介護を抱え込まないように支援し、認知症の正しい理解と情報を提供している。	（１）開催数　６回 （２）延べ参加人数５９名
・介護予防の取組み	各地区社会福祉協議会主催により、「友達作り・安否確認・介護予防」を目的にサロンを実施し、健康に不安がある、各種相談をうけたい、心配がある参加者の情報を受け解決やサービスに繋げている。	・関地区社会福祉協議会サロン （１）開催数２５回 （２）延べ参加人数４７７名 ・南白亀地区社会福祉協議会サロン （１）開催数１４回 （２）延べ参加人数１６９名 ・白潟地区社会福祉協議会サロン （１）開催数１３回 （２）延べ参加人数１６０名

＜介護保険二次予防事業＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
ふれあい幸民館事業 受託金収入　　２，７８５，２７８円 支出総額　　２，７８５，２７８円	運動、口腔、栄養等のレクリエーションを実施し、総合的な介護予防に取り組むことにより、体を動かし行動するようになり、積極的に健康管理に気をつけるようになった。 同時に、要介護状態に移行しないよう歯止めとなっている。	（１）開催数９０回 （２）延べ参加人数１，００１名 教室の参加者に個別のモニタリングと評価
いきいき健口教室事業 受託金収入　　１０４，１６１円 支出総額　　１０４，１６１円	口腔機能訓練をすることで、口周りの筋力が強化され活舌も良くなり、食物が美味しく食べられるようになった。教室参加後、日常生活の見直しをすると共に、自治会で講師となって口腔の大切さを自ら周知する活動がみられた。（口腔　栄養）	（１）開催数８回（口腔・栄養指導）１０月～１２月 （２）延べ参加人数４９名 教室の参加者に個別のモニタリングと評価

＜介護保険一次予防事業＞

事　業　名	効　　果	主　な　実　績　内　容　等
脳の若返り教室 補助金収入　　１，３０８，５７５円 支出総額　　１，３０８，５７５円	読み・書き・計算・数字版をサポーターと一緒に行うことにより、９５％の高齢者が脳機能を維持向上出来ており、一般高齢者の認知症予防ができる。 また、脳の若返り教室に参加した事をきっかけに受講期間終了後も仲間との交流機会が増加し外出意欲の向上・認知機能の低下防止につながっている。 教室終了後は自主活動グループの結成を促している。	脳の若返り教室 （１）開催回数　　４１回 （２）参加者延べ数　　８０４名